

平成 28 年度 事業報告書

1. 事業の概要

近年の農業情勢は、農業従事者の高齢化や農業算出額の減少等、農業生産基盤の弱体化が進むなど、多くの課題を抱えている。

こうした情勢の中、三原村農業公社も今年で 18 年目を終え、三原村農業の発展に寄与する事を目標に各事業に取り組んでいます。

基幹品目であるゆず栽培については、村内栽培面積 50ha を達成するために平成 22 年度より新植を行っており、平成 28 年度も 3ha を植え付け、農業公社独自で合計 32ha の新植を達成して、肥培管理に努めています。

ゆず商品の販売活動についても、「農山漁村振興整備交付金」等を活用し、ゆず皮を使用した「ゆず菓」の製造・販売を開始する事ができました。

また、平成 28 年度補正予算として、農水省が所管する「中山間地域所得向上支援事業」の承認を受け平成 29 年 3 月末に事業費で 150,000 千円の交付（全額繰越）を受けました。当該事業ではセキゼゆず園の整備 8ha を進め、約 5.6ha の新たなゆず園を新植する予定です。

以下項目別に概要を報告します。

【公益事業】

1：栽培実証事業（農地集積）

・農地集積の推移

経営者	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
ゆず農家	1,477 a	1,477 a	1,477 a	1,477 a
農業公社	1,764 a	2,151 a	2,851 a	3,194 a
合計	3,241 a	3,628 a	4,328 a	4,671 a

・ 柚子の産地化に取り組み平成 28 年度は、芳井の耕作放棄地等 1ha を含め、3.4ha の新規植栽を行う事ができ、累計で 32ha を達成する事が出来ました。

・「芳井キャンプ場」



2：栽培実証事業（研修生受入）

・ 平成 28 年度は研修生を増加すべく、「農業担い手育成センター」と「農業大学校」の生徒に対して情報提供する協議を進めた結果、平成 29 年 2 月 1 日に 1 名、4 月に 2 名の計 3 名を新たな研修生として受け入れました。

3：菜園リース

- ・トマト栽培施設事業については、安定的な雇用の確保と収益を上げる事ができました。

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
リース料金	36,257 千円	36,257 千円	36,044 千円	

4：水稻播種

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
利用者	109 人	100 人	103 人	
播種枚数	28,000 枚	26,000 枚	30,000 枚	

- ・水稻の播種センター利用について、平成 28 年度は延べ 103 名の方に利用頂き、30,000 枚の播種で（約 130ha/270ha=48%）の実績を上げることが出来ました。

「水稻の播種作業」



5：農作業受託

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
利用者	19 人	31 人	34 人	

- ・農業機械利用事業・農作業受託事業について、平成 28 年度はブロッコリーを中心とした支援を行い、村内 15 名、村外 19 名の作業受託を行いました。



6：加工品販売

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	備考
ドリンク販売数	24,600 本	90,000 本	36,000 本	委託製造
ゆず菓	0 袋	0 袋	6,298 袋	自社製造

- ・新商品のゆずドリンク「カート缶」の製造本数 90,000 本を全て販売（寄付含）する事ができました。
☆三原村ご当地販売価格として、税込み 100 円（他 130 円）で提供中です。
☆平成 29 年度は、アンケート結果を基にストローを追加しました。
- ・平成 29 年度はゆずドリンクを 3.6 万本製造し、販売戦略を立てて販売を促進しています。
- ・平成 29 年 5 月から新たなゆず商品の製造、販売を開始しました。
☆三原村産のゆず果皮を使用し、農業公社が自前の加工施設で製造中。
1 日に最大 2,000 袋の製造が可能です。
☆加工施設を有効に活用し、作業受託による周年雇用を実現しています。
☆三原村ご当地販売価格として、税込み 180（他 216 円）円で提供中です。

・商品ラインアップ

「新商品：ゆず菓」



「継続商品」



※新商品の「ゆず菓」は品質が高く好評で、売り上げが向上しています。

7：柚子青果販売

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	備考
青果柚子販売金額	15,575 千円	24,618 千円	7,790 千円	
果汁、果皮販売額	0 千円	0 千円	31,727 千円	在庫含む
計	15,575 千円	24,618 千円	39,517 千円	

☆平成 28 年度から、搾汁施設で製造した「ゆず果汁」と「ゆず果皮」の販売を開始。

- ・自動選果機械は平成 28 年度から稼働しました。

「選果・搾汁・加工施設」

「選果機械」



※青果率が向上しました。(H27：14%⇒H28：20%以上)

- ・搾汁施設も平成 28 年度から稼働しました。

「搾汁状況」



※搾汁機械も平成 28 年度から稼働しました。

- ・加工施設も平成 29 年 3 月から稼働しました。

「加工施設」



※6次産業化推進による、周年雇用の創出と付加価値向上が見込まれます。

2. 法人管理業務

1. 理事会・評議員会等の開催

項 目	開 催 日	議案など
第 1 回理事会	平成 28 年 5 月 18 日	平成 27 年度事業報告について 平成 27 年度計算書類の承認(監査報告)について 平成 27 年度業務執行報告について 平成 28 年度資金調達及び施設投資見込みについて 公益法人変更認定申請の結果報告について 評議員会の招集について
平成 28 年度定時評議員会	平成 28 年 6 月 8 日	平成 27 年度事業報告について 平成 27 年度計算書類の承認について
第 2 回理事会	平成 28 年 8 月 19 日	平成 28 年度収支決算(4~6月)について 平成 28 年度活動報告(4~6月)について 集出荷施設の管理運営について 職員就業規則改正について
第 3 回理事会	平成 28 年 10 月 18 日	平成 28 年度上半期活動報告について 平成 28 年度上半期決算について 選果・加工施設の運営について
第 4 回理事会	平成 29 年 3 月 17 日	平成 29 年度事業計画の承認について 平成 29 年度収支予算書の承認について 平成 29 年度資金調達及び設備投資見込に関する件について 平成 28 年度収支見込について ・ 損益見込 ・ 貸借対照表

2. 公益財団職員の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	現場作業員	選果・加工員	販売担当	事務職員	合計	前年比
正職員	1	1		2	4	
臨時職員	17	2	1	1	21	+3
パート雇用		7			7	+7
研修生	1				1	
合 計	19	10	1	3	33	+10

3. 公益財団役員の状況

公益財団法人（平成 29 年 3 月 31 日現在）

役員	氏名
理事長	藤本 節雄
副理事長（理事）	高添 信行
業務執行理事（理事）	池上 和宏
理事	津野 寿雄
理事	森本 勝重
理事	矢野 憲三
理事	宮崎 俊雄
監事	武内 可一
監事	眞鍋 清
評議員	斉藤 元紀
評議員	菊田 恵介
評議員	田野 正利
評議員	小神田 肇

平成 28 年度中の異動

該当者なし